

### 歳出予算事業概要書

款	10 教育費	補正前の額	補正後の額	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	5501000000												
項	03 中学校費							所属課名	教育総務課												
目	03 学校建設費							内線番号													
大	022 総合教育支援センター設置事業							0	3,000	3,232	3,000	0	0	実施計画計上額							
中	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	実施	部	ゆとりある心豊かな米子	0										
小	00							章	『こころ』がいきいき												
細	0							節	豊かな心を育む人権・教育と歴史・												
		0	0	0	0	3,000	画	細節	豊かな心を育む学校教育の推進												
1. 事業の概要と必要性								本年度の財源内訳													
(1) 事業の概要 明道公民館に通級指導教室(中学校)を新設するとともに不足している通級指導教室(小学校)を増設し、総合教育支援センターとして整備する。								区分		金額		財源		款		項目		節		金額	
								15 工事請負費		3,000											
(2) 効果 平成18年度から発達障害がある小学校の児童のために通級指導教室3教室を設置し、41人の児童を受入れ指導を行っている。(住吉小、啓成小、明道小) 現在中学校には通級指導教室がなく、専門的指導を受ける環境がないが、新設することにより、小学校から引き続いて専門的指導を受ける機会が確保される。これにより、生徒の不応とされる行動の軽減・改善を図ることができる。								6. 財源の説明													
								(1) 財源内訳 一般財源													
2. 根拠法令 学校教育法								(2) 事務事業評価の反映状況 評価結果 実施													
3. 用地の状況																					
4. 基本計画との関連																					
5. 本年度の計画効果																					
(1) 事業計画 平成21年4月開設に向け、明道公民館の3階を改修する。 設置場所の選択理由 市内中心部にあり、交通至便であること。 必要スペースの確保が可能であること。																					
								(2) 効果 これまで、発達障害のある中学生を対象とした、専門的な指導環境が整っていなかったが、通級指導教室を設置し生徒を指導することにより、生徒の不応行動の軽減・改善を図ることができる。													
年度 18年度 19年度 20年度 入級数 30人 41人 49人(11/1現在) 指導教員は県費対応。文部科学省通知では、1学級当たりの児童生徒数は9名程度。																					
目的別 性質別																					